

令和5年度の取組実績と評価検証

※括弧内はR4年度実績

全体の達成度	A	達成度70%以上 ※実施済または高い水準で維持するもの	49 (44)	項目
	B	達成度50%～70%	14 (17)	項目
	C	達成度50%未満	0 (2)	項目

基本方針Ⅰ 男女共同参画意識の定着

国や県の実施するセミナーのオンライン化が進んだことで、開催場所や移動時間の制約を受けず、広く知識を習得する機会が得られている。参加希望者の開催情報へのアクセスの利便性の向上が重要であり、市ホームページ等で情報発信に努めた。

また、地域においては女性センター講座や対面での交流の場づくりを進め、男女共同参画意識の定着に向けた取組みを進めた。

数値目標		当初値 (R1)	現状値 (R5)	目標値 (R7)
1	男女の地位を「平等」と考える人の割合	31.3%	-	50%
2	「家庭教育講座」を実施した施設の割合	46.6%	37.2%	63%

施策の方向	評価 ※括弧内は前年度			令和5年度の具体的な取組み
	A	B	C	
I-1 男女共同参画を促す継続的な情報発信と学びの機会の提供 重点	4 (4)	1 (1)		山形県男女共同参画センター等が実施する各種講座について、市ホームページ等による周知を行った。 また、中央公民館女性センターでは、春季・秋季講座、かがやき女性塾を開催し、学びの機会を提供した。
I-2 能力や個性を生かすための教育の推進	5 (4)		(1)	家庭教育講座はコロナ禍により開催施設数が大きく減少し、初期値を下回っているが、増加傾向にある。
I-3 一人ひとりの違いを認め、参加を促す社会の実現	3 (1)	2 (3)	(1)	多言語の生活ガイドブック及び防災ハンドブックの配布に加え、外国人にわかりやすく情報を伝える「やさしい日本語研修会」を実施した。 LGBTQの理解を深める研修会に参加し、令和5年度に実施する職員研修を企画した。(R5実施済 42名参加)
	12 (9)	3 (4)	0 (2)	

基本方針Ⅱ 一人ひとりが希望する働き方の実現

コロナ禍を契機に働き方が変化しており、子育て世帯等への職場の理解も深まった。ワーク・ライフ・バランスの推進のため、労働局と連携し、積極的な周知を行っていく。
また、鶴岡サイエンスパークの施設整備や新たな産業団地造成についての具体的検討を開始する等、魅力的な仕事を生み出す基盤を整備した。新規創業者に対する助成金などで、希望する働き方の実現に向けた支援を行った。
つるおかエール奨学金返済支援事業に加え、若者交流事業つるおかミライ会議を開催し、若者の地元回帰を図った。

数値目標		当初値 (R1)	現状値 (R5)	目標値 (R7)
1	女性の15～64歳の就業率	75.1% (H27)	77.6% (R2)	75.5%
2	市役所男性職員の育児休業取得率	0.0%	37.9%	50%

施策の方向	評価 ※括弧内は前年度			令和5年度の具体的な取組み
	A	B	C	
Ⅱ－1 仕事と生活の調和をもたらし柔軟な働き方の推進 重点	1 (1)	4 (4)		労働局と連携し、市内事業者に対し一般事業主行動計画の策定や、労働者への各種支援制度などの周知を実施した。
Ⅱ－2 雇用機会の充実と待遇格差の縮減	8 (8)	1 (1)		労働環境の改善や多様な働き方の推進し、市の窓口でマザーズハローワークを周知するなど、ハローワークや商工団体等と連携し取り組んだ。 新規創業者への助成金などで、スタートアップを支援した。
Ⅱ－3 将来を担う人材を惹きつけるしごとの創出	4 (4)	1 (1)		鶴岡サイエンスパークの拡張した研究棟への入居を進め、より魅力的なしごとの創出につながる環境を整備した。 また、新規就農希望者へ研修機会を提供し、国事業を活用し、研修期間における生活資金の確保を支援した。 つるおかエール奨学金返済支援事業やつるおかミライ会議により、若者の地元回帰を促進した。
	13 (13)	6 (6)	0 (0)	

基本方針Ⅲ 誰もが活躍できる地域社会づくり

市の審議会等における女性委員の割合は年々向上しており、令和5年度末時点で当面の目標である30%を達成しており、政策や方針決定の場への女性の参画を進めている。また、地域を牽引していく官民の女性リーダーの育成を進めるため、市役所内で女性職員の意見交換の場を確保した。さらに、「つるおか小町Café」を開催したほか、地域づくりや防災現場への女性の参画を促した。
今後もこうした取組を継続し、誰もが活躍できる地域づくりを進めていく。

	数値目標	当初値 (R2)	現状値 (R5)	目標値 (R7)
1	市の審議会等委員の女性比率	23.8%	30.6%	30%
2	地域防災アドバイザー女性登録者数	6人	8人	8人

施策の方向	評価 ※括弧内は前年度			令和4年度の具体的な取組み
	A	B	C	
Ⅲ-1 女性の政策・方針の決定 過程への参画の促進 重点	2 (1)	 (1)	 (0)	市審議会等の改選期に合わせて、専門的な知識を有する女性の発掘や充て職自体を見直すなど、男女の比率に配慮した。 また、地域を牽引していく官民の女性リーダーの育成を進めるため、市役所内で女性職員の意見交換の場を確保した。新たに地域の女性リーダーの発掘と女性の交流の場を作るつるおか小町caféを開催した。
Ⅲ-2 地域活動への多面的な 支援	3 (2)	2 (3)	 (0)	地域の課題を見つめ、地域の将来を考える地域ビジョンの策定を通じて、男女や年齢の偏りなく活動する場を設けた。 また、地域をコーディネートする人材の育成やアドバイザーの派遣など、地域に活力を与える人材の育成に努めた。
	5 (3)	2 (4)	0 (0)	

基本方針Ⅳ 不安なく家庭生活を営むための環境の整備

結婚や出産、子育て世代に対する相談体制の整備、障害者や高齢者の社会参画を推進するための各種施策の展開など、不安なく生活できるよう支援に努めた。
また、DVの相談体制について国や県とともに周知したほか、荘銀タクト鶴岡でもパープルライトアップを実施し、DVについての正しい知識の啓発に努めた。

数値目標		当初値 (R1)	現状値 (R5)	目標値 (R7)
1	子育ての環境や支援への満足度について5段階中4点以上と評価する保護者の割合	27.6%	-	42%
2	DVを受けたことを「相談した相手がいる」人の割合	61.5%	-	80%

施策の方向	評価 ※括弧内は前年度			令和5年度の具体的な取組み
	A	B	C	
IV-1 子育てする人、出産を希望する人への支援の充実 重点	6 (6)	2 (2)		子ども家庭支援センターと地域子育て支援センター15か所を開設し、育児相談体制を整えている。 また、保険適用分の生殖補助医療及び併用実施の先進医療に対し、令和5年度より新たに助成を行い、出産を希望する夫婦の経済的負担を軽減した。
IV-2 心身ともに健康な生活の確保	4 (4)			妊婦検診や保健師による産前産後のサポートのほか、生活習慣病の発症や重症化を予防するための指導や健康診断の受診を促した。
IV-3 高齢者や障害者が安心して暮らせる地域づくり	6 (6)	1 (1)		生活支援コーディネーターを配置し、地域支え合い活動の推進に取り組んだ。 また、住民主体の通いの場の普及や生活支援等の担い手の養成に努めている。 障害への理解を深めるための啓発活動やイベント等での手話通訳、タクシー券等による外出支援を実施した。
IV-4 DVの防止と適切な被害者支援の実施	3 (3)			啓発リーフレットの配布や市HPでの啓発活動のほか、内閣府の「女性への暴力をなくす運動」に合わせたパープルライトアップを荘銀タクト鶴岡で実施した。
	19 (19)	3 (3)	0 (0)	